

選定にあたっての留意点	「茶」～茶の文化	「水」～水と生きるまち・関西	「古典」～日本人の心を育んだ関西	世界遺産をはじめとした文化遺産	「酒」～酒にまつわる日本文化	
① 関西のブランド力向上に必要な留意点						
【意味性・物語性】 各地域の資源や取組を繋ぐことで、取組そのものに「意味」や「物語」を提示できるもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西各地で銘茶が生産されている。</li> <li>・「茶道から生まれた文化」として、建築(茶室等)、伝統工芸(茶器)、食文化(茶菓子等)等を繋ぐ『物語』の提示が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西各地の名水、酒、琵琶湖、水の浄化の技術等、資源は極めて多種多様に及ぶ。</li> <li>・「水」は概念が広いため、分かりやすい『物語』を作るには工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の題材となった箇所、古典となった文学、芸能等、資源は多種多様であり、また各時代毎に存在。</li> <li>・既に単体で評価が確立されている個々の古典を、繋いで新たな『物語』化することに工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西に世界遺産等の質の高い文化遺産は、多種多様に存在している。</li> <li>・世界遺産、文化遺産の年代や文化的背景等がそれぞれ異なるため、繋ぐことで提示できる『物語』作りに工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西各地で地酒、洋酒醸造等が行われている。</li> <li>・「酒」をキーワードに、名水や醸造地、酒器など多様な資源を結びつけることが可能。</li> </ul>
【起源性】 広く社会に普及しているものの起源が関西にあるもの等、関西において歴史的な由縁があるもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の生産(煎茶製法等)は、宇治が発祥の地。</li> <li>・わび茶の創始者は村田珠光、「茶道」の大成者は千利休とされている他、今につながる茶の湯から生まれた文化は、関西が起源。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴船神社等、水の神を祀る神社は多い。</li> <li>・海や川の水運に恵まれて開かれた町も多い。</li> <li>・軟水を活かした食文化の発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化のルーツであり、中枢となっている古典文学の所縁の地が関西に多数存在するほか、古典芸能も関西発祥のものが多数を占める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化遺産は、関西が日本文化の起源であることを示す代表的な資源の1つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒(日本酒、清酒)の発祥の地として関西が候補に挙げられている。(奈良、播磨、伏見の諸説あり)</li> <li>・酒の神様の総本山の大神神社も存在。</li> </ul>
【優位性】 質、持続性、種類、先進性等において日本や世界の中で優れた点を持つもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三千家や煎茶道をはじめとして、茶の湯文化を継承している地域は関西。</li> <li>・新たな“茶”菓子や和食等の開発も京都を中心に関西が先進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川床、かばた等の水に親しむ文化、浄水に関する技術等、個々の先進性のある資源が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米よりも古い時代の文学、芸能が現存している。</li> <li>・京都の「古典の日」など古典を再評価する動きが生まれつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域別では国内トップ、世界でも有数の世界遺産の集積がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大醸造地のうち、2つが関西。(伏見、灘五郷)</li> <li>・日本酒の生産量の約5割が関西。</li> </ul>
【独創性】 世界にも通用する独創性があるもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の湯文化を起源とする日本の精神文化が、近年、海外において独自性等を高く評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源単体では特徴あるものがある。</li> <li>・「水」として括った場合の演出に工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏物語など世界で高い評価を得ている古典(文学、芸能)は、世界に類を見ないものが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界有数の世界遺産の集積地として、訴求力あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、海外において日本酒が高く評価されており訴求力はある。</li> </ul>
② モデル事業実施にあたって必要な基準						
【広域性】 可能な限り関西全域の地域づくりの取組が参加できるもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西の各地において、茶葉の生産、茶器・茶筌づくり、茶菓子の開発等が行われている。また茶室・庭園、懐石料理等、関連する資源も幅広い地域に存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に関する資源は各地域に多種多様に多数存在し、また水都大阪や水郷めぐりなどの活動も活発に取組まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の舞台となった地域は、京都、奈良、大阪を中心として、近畿各地に存在。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産(ジオパーク等も含む)に限定すると箇所が、一定数に限られる。</li> <li>・文化遺産に対象を広げると、各地域に多数存在するため、幅広い地域の参加が可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域において新たな地酒開発等が進められており、また資源も幅広い地域に存在することから、関西の多くの地域が参加可能。</li> </ul>
【訴求性】 国内外から「関西ならではの」と納得させるもの	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「茶道」は関西が起源であり、文化面に着目した取組や資源に関して、他地域に優位性があると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源単体では特徴あるものがある。</li> <li>・「水」として括った場合の演出に工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西は日本文化の起源との認識はあるため、「古典」に関しても一定の訴求力があると考えられる。</li> <li>・既に単独で評価が確立されている個々の古典を、繋いで新たに訴求することには、工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に京都・奈良を中心に文化遺産の集積地として地位を確立。</li> <li>・年代や背景等が個別に異なるものを、繋いで訴求することには、工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国各地で酒が生産されるようになってきているが、酒器や酒米等、多彩な資源が存在するのが関西の強み。</li> </ul>
【総合性】 ①の基準を高い水準で満たすもの	内容	-	-	-	-	-